

大原草紙

第85号
令和5年10月
秋季号

私の大原ベストポジション



小出石町 田家正雄
あれこれ



東西山に囲われた小出石町は、大原八郷には含まれず、「北肉魚山行記」に「この村（大原）六百石ノ所ニテ大原八郷ト云（中略）小弟子ヲ添テ八九郷ナレトモ、コレハ遥ノ奥北方ナル故ニ、先ハ八郷ト云ウ」とある。明治十二年十二月に正圓寺に小学校が創設され後、臨濟宗化城庵跡地（現在の公民館）に移され明治三十四年三月まで、大原尋常小学校小出石分教室として存続していた。

私の小学校の頃は学校まで約一里の道を往復した関係か足には自信があったのを記憶している。また、小学校時代のマラソンで女子は小出石町バス停、男子は三谷口までの往復、中学時代は、女子が途中峠を越え還来神社、男子は上龍華までの往復、砂利道を走ったものである。その学校も、来年小中一貫教育校となって十五周年を迎える。開設当時は百人を切り、平成三十年には六十五人となっていた児童生徒数も来春にはようやく百人を超えることになってきた。

開設十周年、門川市長にビデオメッセージを撮りに行った際、全校生徒百人を目指しますと話したことを思い出す。この先、子供達が多く集う大原になってほしいと願っている。

京都大原里づくり協会

からのお願い

理事長 西田 誠

去る3年間会費を集めずに運営してまいりましたが、今年総会で4年ぶりに会費を集めることになり、8月末で2ヶ月、約50名の方が会費をお送り頂きました。

会員の皆さまには会の運営を夫々支えて頂いています。どうか会費を集めることにご理解と御協力をお願い申し上げます。4年ぶりの会費のお願いですので、つい失念の方もあることと思います。どうか会費納入をお願い申し上げます。

会員外の皆さまには、各種活動と大原草紙を通じて里づくり協会の活動にご理解、ご協力を頂いております。会費を集めるこの機会に会員となつて支えていただくよう再度お願いを申し上げます。あつまつた会費は、会の運営経費や主な取組として、

■京都大原学院の卒業生がより広い視野を養うため、海外留学する時、その志を応援するため2名に各5万円支援いたします。

■大原各町の伝統的行事等の調査。

■大原地域のミニコミ紙「大原草紙」を四季報として定期発行。

■大原文化センター（旧JA大原支店）の支援。
などに会費を支出します。

それぞれの取組みは里づくり協会の存在する意味でもあります。皆さまに会費を集める意義のご理解を戴きますようお願い申し上げます。

年会費

個人会員	30000円
賛助個人会員	10000円
団体会員	300000円
賛助団体会員	100000円

◎JAからの口座番号

京都中央農業協同組合

岩倉支店（普通）3870738

口座名義…トクヒ）キョウト

オオハラサトヅクリキョウカイ

◎郵便局からの口座番号

ゆうちょ銀行 記号番号

009103161892

口座名義 特定非営利活動法人

京都大原里づくり協会

「高齢者の居場所づくり」

の取組み案内

昨年秋から当里づくり協会、大原社会福祉協議会、左京健康友の会大原支部、高齢サポート・大原、左京区地域支え合い活動コーディネート（仮称）を立上げ、大原地域の高齢者が充実した生活を過せるよう、支えあうため協議を重ねて来ました。連絡会は今秋から高齢者が集える具体的な行事を催すことになりその第1弾として、10月に映画鑑賞

会、11月はレコード鑑賞会を大原文化センター（旧JA大原支店）を会場として開催する準備を進めています。往年の名画や名曲を、身近において、集い、語り合ってみようという試みです。具体的内容がまとまり次第ご案内しますのでご期待ください、また、「このような事を」やって欲しい。といったご意見、ご要望をお寄せください。

大原住民の高齢化を考える

高齢者の日々の課題

突然振りかかる転倒や循環器系の自分自身が発する出来事。外からの経験したことがないほどの大規模自然災害や特殊詐欺等々。そうして10人10色のイロイロなこと。いよいよ人生の第4コーナー。「人は一人では生きられない」「独立するが孤立せず」このページを「高齢者の情報交換の場」にしたいと思えます。投稿をお待ちしています。

お世話になりました、

老人より



井出町 池田定男

いよいよ最終号に入った。この1年間は長いようでいて、短いようにも感じる。老人の諸々を書くことであったが、甚だ心許ない。

我ながらに老人の定義をすると、「自分の好きなことをやる」「自分らしく生きる」といったような言葉になるのか。このような生き様、思想信条はいままでになかったことではないが、一般的に極めて多くないしマイノリティであったとおもふ。我ら等、戦後世代の民主教育を受けた団塊の世代あたりから、このようなライフスタイルが見受けられるようになったのではないか。それ以前では、社会的に「気まま過ぎる」「勝手な振る舞い」「社会性が欠如」「個人主義的」等、あまりいい評価を得る生き方ではなかった。しかし、60年、70年と時が経つにしたがって世界的潮流として、若いゼネレーションに浸透していった時代でもあった。このような状況によって、いままでの古い考え方は保守的とみられ、また反動的とも看做され揶揄された。

あれから50年余。いろいろあったが、昭和・平成・令和と時代を重ねるにしたがって、世のなかはどれだけ以前と変わったであろうか。国民の生活水準は各段と上がり、物質的には恵まれた豊かな生活をわれわれは享受している。では人間として満たされたゆたかな生活を送っているか、と顧みればなにか物足りない。諸手を挙げて喜べるほど実質はゆたかではない。実際のところは素直になれない。

たとえば、地球温暖化現象にみられるような環境問題。この問題は日本に限らず、地球的規模で全世界が注目するところである。グローバルな喫緊の共通認識として、要因なるものを突き詰め問題解消に努めなければならぬ。いまこのときに、団塊世代の内なる声に、耳をそばだて、目を凝らし、声を大にして老人が叫ぼうではないか。山紫水明のなかに生きる大原村民として、次期世代のために立ち上がるべきである。

2023・08・28

今年の惟喬親王1127年 御遠忌法要はお参りありです

大原伝統文化保存会と里づくり協会が呼びかけて明治10年以來の大原の歴史文化をおもいお越した法要と集いは「惟喬親王ゆかりの地の集い」として開催されてきましたが、新型コロナウイルスの影響で規模を縮小して開催してきました。今年は少し回復します。皆さまお越しく下さい。

日時：令和5年10月10日

午前9時30分受付
場所：大原勝林院町 勝林院堂

法要：惟喬親王1127年

鑽仰御遠忌法要

出仕：魚山一山各寺院

集い会場：森善（三千院山門前）

移住者の声

大原の土地に一日も早くなじみ、充実した日々を送って頂くよう、紙上を通じて交流し、大原への思いを寄せて頂きました。皆さまの投稿をお待ちしています。

連絡先：西田誠

090-4649-0633

2916nishida@gmail.com



戸寺町 国井あした

大原に来て、もうじき2年。ご近所の方々はとても親切でありがたいです。

私が、大原に住みたいと思ったのは、今から7年前。私自身は、幼少時、母と二人で山のふもとの保育園に毎日歩いて登園し、途中には豚小屋や石の山や、冬には漬物の樽が並び、その上に張った氷を割る。とても楽しい通園・通学路でした。人見知り、学校生活は、忍耐の日々でしたが、通学路で出会う野イチゴや自然

のおかげで、学校に行きたくないと思ったことはありませんでした。大人になって、青年海外協力隊に応募し、ボリビア共和国で2年半暮らしました。最初の任地はアマゾンの小さな村でした。

アマゾンで出会った人々は、とても貧しいけれど、明るく感情豊かで、ただ、人は自然の一部として、ここに生きていました。

目に入るものは、7割位が空。そして広がる緑と、土の色。そんな景色の中で、特に子どもたちの目は、きらきらと輝いていました。

頑張ると暑いので、みんなゆっくり歩く。しかもついで早歩きをしている人はいません。雨季はスコールのような雨が降りますが、雨が止むまで雨宿り、大雨の中誰も外を歩かない。だから誰も傘を持っていません。電気やガスもなく、薪で調理。洗濯機も冷蔵庫も、便利なものは何一つないけれど、みんな生きる力を持っています。今の『先進国』もかつてそうだったように。

日本に帰って、モノも情報もあふれる社会は、便利で効率的だけど、清潔だけど、人間が本当に大切にすべきものに、気づきにくい社会でした。

時が経ち、私は子どもが生まれて、抱っこしながら、あのキラキラ輝く子どもたちを思い、せめて、この子

が通学路で目にするものが、自然の色だったらいいな。子どもたちと、何より私自身のために、大原に住みたいと思いました。

「自然を尊重し、人間の尊厳を守りたい」と心に決めて、私は高齢者にかかわる仕事を続けています。高齢者を心から尊敬する社会は、すべての人を大切にする社会につながると思っています。

まだまだ大原の新人ですが、赤ちゃんなからお年寄り、障害をもつ人も、みんなが暮らしやすいように、地域のことを考えたいです。また、子どもたちに青い空を残すために、日本や世界の情勢からも目を背けないようにしたいと思っています。

大原文化センターより

- 一、センターの駐車場を利用して下さい。
- 二、車を置いて京都バス利用はどうか？
- 一、一階のフリー・スペースで喫茶店をされる方はございませんか？
- 一、付属倉庫が整理できました。利用希望者おられますか？

4年ぶりの
ニギワイ
煮えたった夏

大原の里



復活・改善・発展

7月31日
百井夏祭り



大型犬をソファ代わりにする少女と
甘んじる大型犬



8月13日
大原の盆踊り



9月2日
江文神社八朔踊り



大原ゴルフ場の麓あたりに「ド派手な看板が」と思っていたら、操業が始まった、それも、すさまじい騒音と水質汚染が危惧される施設。これは無関心でいられません。



大原にスクラップ

ヤードができて…

古知平町 丸山啓史



昨年の春に、伏見区から家族4人で古知平に引越してきました。今、息子は6年生、娘は3年生です。今年から家の横でささやかな畑を始め、獲りたての野菜を味わえる幸せを感じています。この2年くらいの間に、たくさんの方と知り合うこと

ができて、大原での生活が充実してきました。

ところが…。今年に入っただけからだったでしょうか、高野川を挟んだ家の向かい、国道沿いの場所です。工事が始まりました。「仕事をしなす」という紙一枚も届かず、何の連絡もないままの工事だったので、「何をやるのだろう?」と思っていました。

資材置き場ができるのかなと考えたのですが、6月頃に操業が始まったのは、鉄などの金属を引き取るスクラップヤードでした。鉄、銅、アルミといった金属そのものだけでなく、冷蔵庫、洗濯機、自転車、シン、給湯器、ガスメーター、発電機なども集めるようです。看板には、楽器、陶磁器、フォークリフトも買い取ると書かれています。

このスクラップヤード、とにかく騒音がすさまじいのです。金属がぶつかる「ガシャーン」という音、金属をたたくような「ガン、ガン」という音、金属を切断するような「ブーン」という機械音などが、フェンスの内側から響いてきます。大きな音は、山に反響して、雷のよう

に一带に響き渡ります。土曜日、日曜日、スクラップヤードは休んでいません。朝の8時から始まることもあり、18時を過ぎても大きな音のすることが少なくありません。

私も妻も、日中に家で落ち着くこ

とが難しくなっていました。音のしていない時間はあるものの、いつ大きな音がするかわらないので、体と心が緊張してしまいます。本を読んでいた、家族で話をしていたりしても、急に「ガシャーン」と不快な金属音があるので、集中できません。日中に家にいると気分が悪くなるほどです。

熱を出した息子が家で寝ていたから、スクラップヤードの音で目を覚ましてしまいました。次の日からは勝林院町の方の家でお世話になり、たいへん助かったのですが、「病気のときに静かに休ませてあげることができないなんて…」と、悲しい思いをしました。

また、有害物質の流出も気になっています。スクラップヤードの看板を見ると、パソコン、プリンタ、携帯電話、バイク、モーター、バッテリー、ストーブなど、雑多なものも引き取り対象になっています。けれども、スクラップヤードに屋根はありません。いろいろな物が雨ざらしです。高野川に有害物質が流れ出ないか、心配しています。

インターネットで調べてみると、古知平に現れたスクラップヤードは、千葉や埼玉などで問題になっている種類のものようです。

古知平の町内会長さんは、町内の状況を聞いてまわったり、区役所や市役所に何度も足を運んだりして

ださっています。また、自治連合会長さんは、「これは大原全体で考えないといけないこと」と、役所との話し合いを進めてくださいました。ありがたい、心強く感じています。

一方で、役所では、スクラップヤードの害を規制する法律や条例が整っていない、ということを言われます。日常生活が脅かされているのに…と、もどかしい思いです。

私たち住民の生活に大きな影響を与えるものが何の説明もいまま作られてしまう現実を目の当たりにして、不安を感じています。「これからも変なものが大原にできていくかもしれない」という不安があります。何とかして、みんなが安心して暮らせる、「住みたい大原」を守っていきたくです。



大原の道標 その五

大原古文書研究会 上田 壽一

各町の辻などに建っている石造りの道標を調べてみた。

長い風雪で判読不明のものもあるが、よく目にするものから調べてみた。

左 寂光院

敦賀街道

明治四十三年六月

京都中井三郎兵衛建之

是ヨリ六丁

右 魚山

これは旧大原駐在所近くの三叉路にある一二〇センチの石碑である。

中井三郎兵衛は明治の実業家で、日本初の紙商組合京都紙商組合を創立。また、京都織物会社の創立発起人でもある。後に京都府会議員、市会議員となり、観光都市としての京都の発展に尽くした。

彼の建てた石碑は大原にあと四つあり、人々を寂光院へと導いている。



OSO18は駆除されたが!!
こちらのおきやくさんたちは

西田 誠



北海道東部地方で恐れられたヒグマの「OSO18」がひん死の状態で発見、駆除されたとTVで報道された。ネットで調べると「牛襲うヒグマ忍者並みの警戒心」と見出しが出ていた。熊の中でも凶暴性が強いスーパージグマ「OSO18」はコードネーム。18は前足の幅、体重300キログラム、体長2.2メートル。被害額は2000万円以上。日本有数の酪農地帯で牛を狙う。

これを見ながらニセコに住む姪が「高速道路を走っていて、突然ガンと何かに衝突、岩かと思ったらマコさんの3倍ぐらいあるヒグマやった。」そして「この話、する度にヒグマが大きくなるの」そこで僕の一首マコさんの5倍のヒグマと事故ツタとニセコの姪から暑中ハガキ

と思いついて出しているところへ、近所のKさんが現れた。「これナンヤと思う」とスマホの写真。その写真がこれ。



害獣捕獲器からこちらを見ているのは？狐？狸？別の角度からのも見えてタヌキと判定。Kさんも同意見。彼によるとこの所、鹿が来る、狐が来るハクビシン、アライグマ、そうしてタヌキが昨夜未熟でまだまだ早い南京豆を荒らして逮捕。彼はイロイロな最新器具と古来の駆除器具と、研究熱心。オス鹿が網の張り巡らした畦を巧みに潜り抜ける動画も撮影している。知り合いの高島市の知人から聞いて防御網を1メートル間隔で2重に張った。1枚目を飛び越えてもすぐ隣に張った網は超えられないと鹿が考えて近づかないだろうという深慮遠望柵がこの写真。右の畑に鹿の足跡があるが左の畑にある枝豆などは無事。



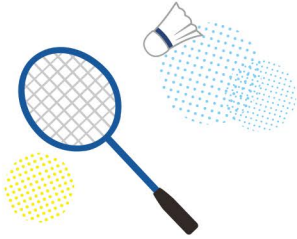
ところで写真のタヌキ。逃げ場がないので死んだふりをしていたが、それはウソ、ヤツの得意なタヌキ寝入りと見抜いたそう。タヌキ汁の味はどうだったかは聞き忘れたが。

いま 京都大原学院で

大原学院部活動

■ バドミントン部 ■

7年生3名、8年生3名で部活動を行っています。学年関係なく仲が良いため、楽しく活動しています。先輩に勝つために頑張る7年生と、負けないように努力する8年生で、互いに励まし合いながら取り組んでいます。みんながうまくなるために、一人一人が全力で練習に励むことができます。また、外部コーチとして飛田さんが来てくださり、私達のために指導をしてくださっています。部員数が少ない中、いろんな人が支えてくださり、しん



どい練習もみんな頑張っているおかげで、少しずつ上達しています。今年の夏季大会では、団体戦と個人戦で3名が全市大会に出場しました。団体戦ではベスト8に入り、秋季大会の予選会場校に決まりました。この大会で、他校のレベルの高さや、地道な努力の大切さを感じることができました。秋季大会では、前回の悔しさを思い出し、女子、男子ともに悔いのない試合ができるように、これからも手を抜かず練習に取り組みます。



■ 文化部 ■

文化部は昨年9年生の2人が卒業し、今は部員募集中です。活動内容は音楽に関する事として、ギター演奏、家庭科に関する事として、お菓子作りなどに取り組みました。夏休みにはお手製のアイスクリームを作ってみるなど食べたりもしました。文化部では、このように多岐にわたる充実した部活動を行います。ぜひ、文化部へ！

■ ソフトテニス部 ■

7年生4人、8年生2人の合計6人で練習をしています。9年生が引退して不安もありましたが、キャプテンを順番に回してみたり、お互いに声をかけあって頑張っています。夏の大会では団体戦は1回戦負けと悔しい結果でした。しかし個人戦では参加したすべてのペアが全市大会に出場し、そのうち1ペアがベスト32まで進むことができました。自分たちのプレーだけでなく、お家の人や地域の人たちに支えてもらったから手になることができた結果だと思えます。秋の大会では先輩たちに負けなような結果を残せるように、個人、団体どちらも頑張ります。応援よろしくお願いします。



【部員数】

※5・6年生は「合同部活動」として週1回活動

文化	ソフトテニス		バドミントン		学年
	女子	男子	女子	男子	
女子	-	-	4	2	7
男子	-	-	2	3	8
	3	2	6	7	※5・6



れんさいマンガ
* 84 *
アズマツネオ



映画鑑賞会

10月13日(金)
13:00 ~ 15:00



■場所：大原文化センター2F
(旧JA大原)

■上映予定：「ローマの休日」

主演：オードリ・ヘップバーン
・グレゴリー・ペック

■参加費：飲物代 100円

■会場の都合上、人数制限があります。観賞ご希望の方は里づくり協会・西田までご連絡ください。

☎090・4649・0633

■主催：大原居場所連絡会（仮称）

■共催：大原社会福祉協議会、高齢サポート・大原、左京区地域支え合い活動コーディネーター、左京健康友の会大原支部、NPO 京都大原里づくり協会

大原ミニマルシェ 初開催

■投稿者 前田明美

大原文化センターで初めて開催された大原ミニマルシェ。地域の方がたくさん来てくださりとても賑やかでした！大原のお店のお弁当やパン、お菓子、加工品、ドリップコーヒーなどがたくさん並びました。地域の方も協力頂き、美味しい冷やしたい焼きやお野菜、お花、雑貨などたくさん出品して下さいました。癒しのコーナーではお灸体験やハンドトリートメント、クイックマッサージなどがあり、ワークシヨップ



大原文化センターには赤ちゃんコーナーも開設、おむつ替えや授乳場所の心配もないので小さなお子さん連れでも安心して楽しんでもらえる場所になりました。

来て下さった方々が楽しんでお話をされている姿をみて、

はハロウィンのアイシングクッキーに革のオリジナルキーホルダー、推しのデコフォトフレーム、た

このようなつながりの場をいろんな方がたくさん開催して下さる第一歩になればいいなと思いました。



表紙の横顔

田家正雄さんのプロフィール

第85号という節目の表紙の人は去る5月、大原自治連合会会長を退任されたばかりの田家さんをお願いした。お坊さんにとって8月は他の月以上に多忙であろうが、快く受けて戴いた。自治会副会長が13年、引き続き会長を4期8年。「一番思い出に残る出来事は何でしたか」の問いに躊躇なく「学校問題です」

年々減少が続く児童数は、高齢化、少子化という社会現象では済まされない、大原の学校が存続か合併かの瀬戸際を過ぎたのだ。門川市長に「生徒数100人を目指す」と語ったが、来春には達成すると田家さんの頬がゆるんだが、今後も空き家対策の専門委員を務めながら、安定した生徒100人超えのため取組むと強い思いを語られた。

《編集部から》（文責 西田）